

早明浦ダム再生事業環境検討委員会（第5回） 議事要旨

開催日時 令和3年12月2日（木） 14:00～16:00

開催場所 高知市文化プラザかるぽーと 11階 大講義室

出席委員 石川和男 松山東雲女子大学名誉教授

石川愼吾 高知大学名誉教授

○ 笹原克夫 高知大学教育研究部自然科学系教授

高橋勇夫 たかはし河川生物調査事務所代表

（○：委員長）

議事要旨

（1）規約変更（委員名簿）について（事務局からの報告）

第4回委員会です承された荒川良委員及び藤原拓委員の退任に伴う委員名簿の修正について報告された。

（2）第4回委員会における委員指摘事項とその対応

事務局の対応について、了承された。

（3）第4回委員会以降の更新情報

1）植物の試験移植結果報告

事務局より植物の試験移植結果について報告し、了承された。

なお、委員からの主な指導・助言は以下のとおり。

- ・播種は何年か繰り返しやれば成功することもあると思うが、不確実性を伴う。株移植の定着率が高く、株移植を主体とした保全対策が良い。
- ・試験移植の結果は、公表できる内容、タイミングを見計らいつつ、可能な範囲で情報を共有していただきたい。

2）植物の重要な種の移植計画

植物の重要な種の移植計画について説明し、了承された。

なお、委員からの主な指導・助言は以下のとおり。

- ・土地の永続性の担保という観点等から、水資源機構の所有地内に移植先を確保しており、本移植計画は妥当である。
- ・今後、工事（伐採）計画が変更された場合に対応できるよう、各種の移植時期を検討できる移植計画書を別途作成していることについて、了解した。

（4）早明浦ダム再生事業における環境保全への取り組み(案)について

環境レポート(案)の構成、内容、公開方法等について説明し、了承された。

なお、委員からの主な指導・助言は以下のとおり。

- ・魚類にとって懸念される水温変動（急低下）については、水質予測シミュレーション結果

を見る限り、許容範囲内で抑制できると思われる。また、早明浦ダムでは細やかな水温管理実績もあり、安心できる。

なお、今後もモニタリングで実態を把握し、問題等が発生した場合の対応は迅速に行っていただきたい。

- ・環境レポートの作成のみならず、本委員会全体を通して、委員からの細かい指摘事項に丁寧に対応していただいたと思う。
- ・環境レポート(報告書版)は、治水事業に携わる方々にも参考となるものであり、積極的にPRしていただきたい。
- ・SDGsが教育にも取り入れられ、社会に浸透してきている。独自の環境マネジメントシステム(W-EMS)を含め、水資源機構の環境保全の取り組みを社会一般に知っていただくため、SDGs貢献という形でアピールしていくと良い。

5) 今後のスケジュール

今後の事業計画及び環境への取り組みの流れについて説明し、了承された。

- ・移植した植物のフォローアップを含め、今後も環境に関するモニタリング調査等が継続され、滞りなく学識者(モニタリング委員)の指導・助言を受けられることについて、了解した。

以 上